

事業所名		株式会社イビリテ ベストチョイス 各務原				支援プログラム		作成日		2025	年	1	月	1	日
法人（事業所）理念		サービスの本質的な価値を提供すること													
支援方針		ベストチョイス各務原は「子どもとその保護者にとって最良の選択（ベストチョイス）を」を合言葉に活動する児童発達支援事業所です。 活動においてはスモールステップを意識し、一人ひとりの「できた!」「楽しい!」というポジティブな経験や感情の育みを大切にしています。 我々事業所が最善の選択だったと思っていただけるよう日々支援に取り組んでいきます。													
営業時間		月曜日～土曜日	10	時	00	分から	16	時	00	分まで	送迎実施の有無		ありなし		
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	職員による手作りの昼食の提供を通して様々な形態や足の食べ物を食べる経験を提供することで子どもの健康増進に務めます。 また、日々心身の健康チェックを行うと共に日常生活動作(食事、手洗い、着替えなど)を評価し、獲得に必要な課題の抽出と発達段階に合わせた訓練を実施します。 意思表示が難しい子どもにおいては小さなサインから心身の異変に気が付けるよう、細やかな観察を行います。 障害の特性に配慮し、時間や空間を分かりやすく構造化することで見通しを持って安心してプログラムに取り組める工夫をしています。													
	運動・感覚	平均台やトンネル、けんけんば等を用いたサーキット運動やリトミックにより粗大運動の機会を提供し筋力アップや運動昨日の向上を促します。 また、さまざまな制作活動を通じて微細運動の機会を提供し操作性の向上を目指します。 さらに粘土やスライム・寒天といった感覚遊びを積極的に取り入れボディイメージを育み過敏や鈍麻といった感覚のバランスを整えます。													
	認知・行動	当日の日付・曜日・スケジュールを視覚で分かるように掲示することでこれらの概念の習得を図ります。 ボーリング、玉入れ、魚釣りなどのミニゲームを通して、数量・大小・形・色などの概念を獲得し認知や行動の手がかりとして活用できるよう支援します。 1年を通して季節に合った行事を体験することで季節の流れや時間の流れを感じてもらえるように支援します。 各プログラムにおける成功体験の蓄積から望ましい行動を形成することにより行動障害の予防に努めます。													
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションの土台となる人と人との関わり心地良さを感じられるように手遊びやわらべ歌といったふれあい遊びを取り入れます。 発話が難しい子には絵カードを用いて要求表出を促すことで自己表現が他者に伝わる喜びを知り、意思疎通が体験できるように支援します。 困った時に質問したり助けを求める等、状況に応じたコミュニケーションの練習を行うことで集団生活におけるコミュニケーション能力の向上に努めます。													
	人間関係 社会性	小集団での活動をプログラムに組み込むことで対人関係や社会性の発達を促します。 また、近隣図書館と連携し公共施設を利用する機会を提供します。 公共施設の利用に合わせてSSTを実施することで楽しみながら公共施設の利用法を学べ、また社会参加に対する意識の向上や自信に繋げていきます。													
家族支援		・送迎、昼食サービスによりご家族の負担軽減を図ります。 ・お子様の日々の様子は連絡帳を通して丁寧にお伝えします。 ・困りごとがあった際は職員と相談できる機会(発達相談)を設けます。						移行支援		・入園予定の園や就学予定の小学校にお子様の情報を共有する					
地域支援・地域連携		・各務原中央図書館と連携したプログラムの実施(月1回) ・地域連絡協議会への参加 ・ケース会議への参加						職員の質の向上		・社内勉強会の実施 ・職員の各種勉強会や研修への参加					
主な行事等		・季節の行事(節分、ひな祭り、お花見、七夕、プール、ハロウィン、クリスマスなど) ・近隣施設や公園へのお出かけ ・誕生日会 ・防災訓練および避難訓練													